

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022年 6 月 28 日

滋賀県知事

三日月 大造 殿



提出者

住 所 〒528-0061 滋賀県甲賀市水口町笹が丘1-12

氏 名 コニシ株式会社 滋賀工場 工場長 原田 邦治  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0748-62-4340

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	コニシ株式会社 滋賀工場
事業場の所在地	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1-12
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工業 16
②事業の規模	188億円
③従業員数	144人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生 → 分別保管 → 自社での中間処理(一部汚泥のみ) → 各処理業者に委託 → 各業者にて処分(焼却、熔融、破碎、又は固化) → 最終処分はリサイクルまたは埋め立て

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙(コニシ株式会社滋賀工場管理体制図)参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	排出量	4772.3 t	1.926 t
	(これまでに実施した取組)		
汚泥:脱水処理による削減 廃プラ:廃棄、ロス率の削減、プラスチックパレットの売却			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	排出量	4724.6 t	1.906 t
	(今後実施する予定の取組)		
前年度より1%量削減 汚泥:廃棄、ロス率の低減。 廃プラ:昨年同様プラスチックパレットの売却。			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  廃棄場所を決め、廃棄物毎にラベルで表示し分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  前年と同じ

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙(コニシ株式会社滋賀工場管理体制図)参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	排出量	52.34 t	90.46 t
	(これまでに実施した取組)		
廃油: 廃棄、ロス率の低減 木くず: 壊れた木パレットの修理による再利用促進。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	排出量	51.82 t	89.56 t
	(今後実施する予定の取組)		
前年度より1%量削減 廃油: 廃棄、ロス率の低減 木くず: 壊れたパレットの早めの修理による廃棄の低減			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  廃棄場所を決め、廃棄物毎にラベルで表示し分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  前年と同じ

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙（コニシ株式会社滋賀工場管理体制図）参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子（廃蛍光灯）
	排出量	0.053 t	0.041 t
	(これまでに実施した取組)		
汚泥・金属くず（廃電池）：電池使用製品の更新 廃プラスチック・金属くず・硝子（廃蛍光灯）：LED灯へ変更			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子（廃蛍光灯）
	排出量	0.052 t	0.040 t
	(今後実施する予定の取組)		
前年と同じ			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  廃棄場所を決め、廃棄物毎にラベルで表示し分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  前年と同じ

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙 (コニシ株式会社滋賀工場管理体制図) 参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	排出量	6.8 t	t
	(これまでに実施した取組)		
特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	排出量	6.0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
廃棄品の即時廃棄			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄場所を決め、分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年と同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3589.96 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
水性系接着剤製造後に発生する廃液に薬剤を投入し、水と凝集物に分離させ、廃棄物の量を削減している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3554.06 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
これまでの取り組みと同じで特に変更点はなし			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子 (廃蛍光灯)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子 (廃蛍光灯)
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子 (廃蛍光灯)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子 (廃蛍光灯)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			



## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全処理委託量	1182.34 t	1.926 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1182.34 t	1.24 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.686 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
優良認定処理業者への委託 再生利用が行える処理業者の選定 自社による処分を原則行わない。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	全処理委託量	52.34 t	90.46 t
	優良認定処理業者への処理委託量	52.34 t	20.14 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	70.32 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
再生利用が行える処理業者の選定 自社による処分を原則行わない。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子（廃蛍光灯）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子（廃蛍光灯）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子（廃蛍光灯）
	全処理委託量	0.053 t	0.041 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
再生利用が行える処理業者の選定 自社による処分を原則行わない。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	全処理委託量	6.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.8 t	t
	再生利用業者への処理委託量	6.8 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
再生利用が行える処理業者の選定 自社による処分を原則行わない。			

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全処理委託量	1170.52 t	1.906 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1170.52 t	1.227 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0.679 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
前年度より1%量削減 汚泥：廃棄、ロス率の低減。 廃プラ：昨年同様プラスチックパレットの売却。			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木くず
	全処理委託量	51.82 t	89.55 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	51.82 t	19.94 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	69.61 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
廃油：製品ロスの低減・不適合品の削減 木くず：壊れたパレットの早期修理による廃棄物低減。			
※事務処理欄			

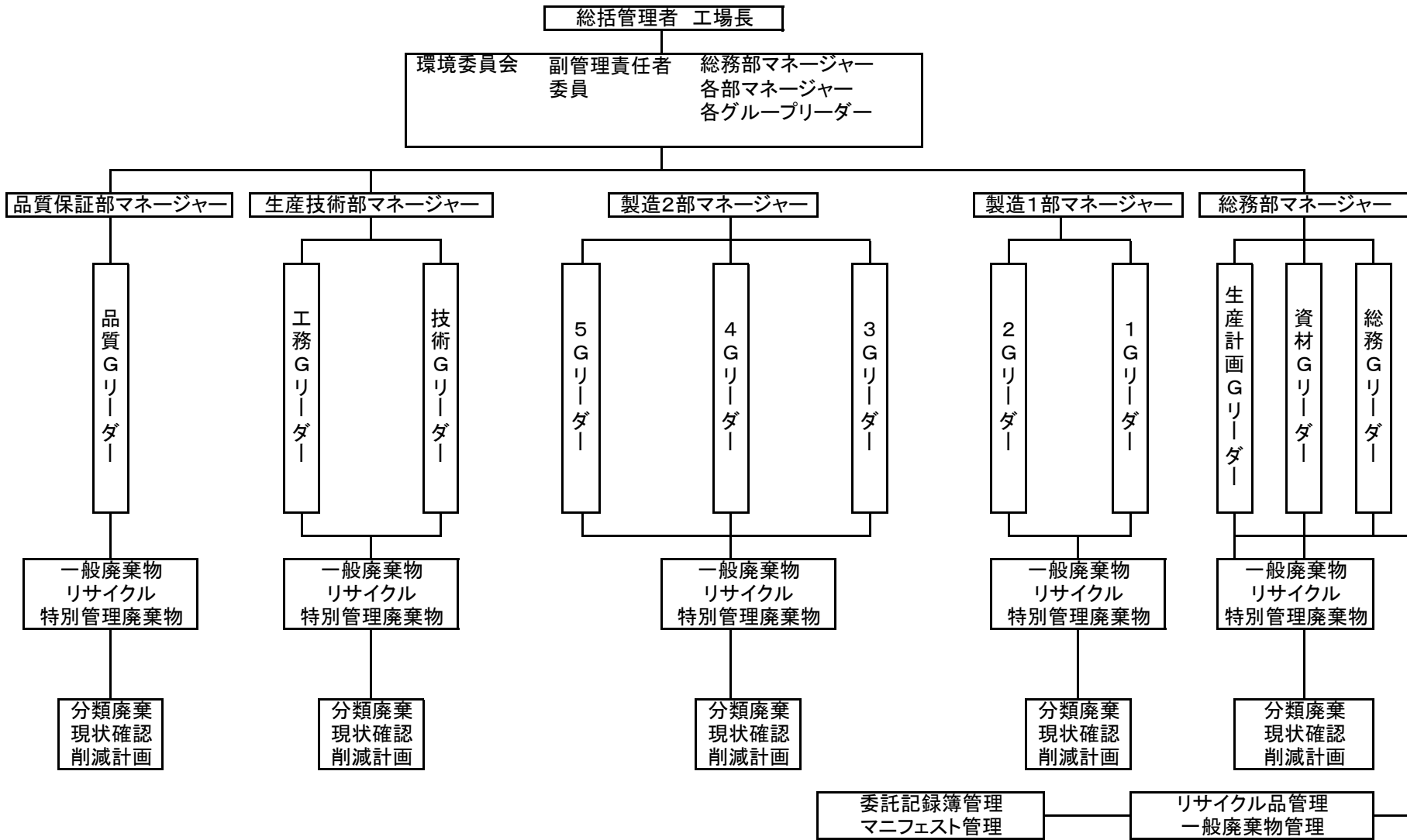
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥・金属くず (廃電池)	廃プラスチック・金属くず・硝子 (廃蛍光灯)
	全処理委託量	0.052 t	0.040 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
汚泥・金属くず(廃電池)：電池使用製品の更新 廃プラスチック・金属くず・硝子(廃蛍光灯)：LED灯へ変更			
※事務処理欄			



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄・廃プラ混合	
	全処理委託量	6.0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	6.0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	6.0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
廃棄品の即時廃棄			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



作成日: 2022年4月 1日